

要 望 事 項

会派名 公明党

事 業 名	内 容 説 明
1. ヤングケアラー対策について	当市の実態調査に基づき、総合的な観点より、きめ細かな対応が必要不可欠である。自尊心や矜持を尊重しつつ、負担軽減等具体的な、また、横断的な施策を実施することが求められている。大変、デリケートな問題ではあるが、着実に応援をして、未来の宝である子ども達が各々の将来に希望を持てるように支援体制を構築していくことが必要である。
2. 骨髄ドナーバンク登録支援制度について	現在、全国で骨髄ドナーを必要とする患者の概ね6割位が移植。少しでも移植率を高める為には、現48万人のドナー登録者を増加させていく必要がある。そこで、骨髄移植に際し、ドナーの方や会社への支援を実施し、患者さんの命を守ることが重要である。本年4月より静岡県も支援制度を実施。当市においても1日も早い支援体制が必要不可欠。県の支援制度を享受する為には、自治体で支援制度が実施されていることが条件とのことである。
3. 行政デジタル化推進ロードマップの着実な実施について	今般、当市における行政デジタル化推進のロードマップが示された。段階的に着実な目標達成が求められている。加えて、地域住民の皆様方の幸福感増大に寄与することも必要不可欠である。誰一人取り残さない対応を実施する為には、段階毎に、具体的で詳細な政策を継続的に実施し、目標達成を実現し、更に「一步前進」を目指していく必要がある。
4. 防災・減災対策の更なる推進・充実について	現在、全国的に自然災害が年毎に増加している。当市においても様々な防災・減災対策を実施しているが、更に様々な角度から推進していく必要がある。殊に、被災時に必要な罹災証明の速やかな発行をする為の「被災者支援システム」の構築が必要不可欠である。当市のデジタル化推進に合わせて、速やかにシステム構築を実現する必要がある。
5. 少子化対策の更なる推進・充実について	人口増加を目指す当市にとって、様々な施策を実施することが必要不可欠である。真の子育て日本一を目指す当市は、子育て環境を様々な観点より、課題解決に向け対応している。しかしながら、日々千変万化する環境変化を乗り越える為の更なる対応が重要となる。多角的な観点より、具体的で効果的な実効性のある施策を実施する必要性が求められている。今後、大胆かつ緻密な現場の声を踏まえた横断的な、地域全体が一丸となった施策を実施していくことが重要。